

## 「東海地域の6次産業化推進人材育成」 2019年度第8期生募集要項

豊橋技術科学大学は、愛知県、豊橋市、田原市などの地域自治体や地元企業と連携して、豊橋技術科学大学「社会人向け実践教育プログラム」、豊橋市次世代「農力」UPアカデミー事業において「東海地域の6次産業化推進人材育成」事業を実施しています。

この事業は、2014～2015年度に農林水産省が開発した農山漁村地域ビジネス創出人材育成プログラムをベースにしたカリキュラムとしており、農業従事者や農業分野へ新規参入を検討している企業関係者等が、農商工のスキルを融合して6次産業化関連ビジネスなどの「あるべき姿」を設計し、その実施に向けての意思決定ができるような人材の育成を目的として実施しています。

そこで、2019年度「東海地域の6次産業化推進人材育成」プログラムの受講生を以下の要領で募集します。

- 1 募集人員 : 「東海地域の6次産業化推進人材育成」第8期生 15人
- 2 受講期間 : 2019年10月～2020年1月
- 3 受講場所 : 国立大学法人豊橋技術科学大学キャンパス他

#### 4 人材育成内容

本事業は、教室講義 58.5 時間、e-ラーニング 20.5 時間(農林水産省で公開している早稲田アカデミックソリューション配信の教材を含む)、先進事例調査研修 19 時間を組み合わせたカリキュラムとし、教室講義では、各自のビジネスプランを作成・発表していただくことにより、実践的なスキルが身につく内容となっています。また、各講義における成績評価のための課題レポートの提出とビジネスプラン作成及び発表会での報告を義務付け、起業化に向けた実戦態勢を想定した演習を行います。

なお、本プログラムの修了生は内閣府の国家戦略プロフェッショナル検定である「食の6次産業化プロデューサー(愛称:食 Pro.)」のキャリア段位レベル3(育成プログラムでは最高位)の申請をすることが可能です。育成プログラムにはレベル1、レベル2(事業主・法人スタッフコース)、レベル2(支援スタッフコース)、レベル3(事業主・法人スタッフコース)、レベル3(支援スタッフコース)があり、本学は全5コースの認証を受けています。

## 5 受講資格

- (1) 高等学校卒業程度の学歴を有している者  
(本学において、同等以上の学力があると認められた者を含む。)
- (2) 心身ともに健康で、農林水産業の6次産業化に強い関心を持っている者
- (3) パソコンを使いこなすことができ、自宅でインターネットへの接続及びメールの送受信ができる者

## 6 授業時数 98 時間

- (1) 教室講義 24 科目 58.5 時間
- (2) e-ラーニング 6 科目 20.5 時間
- (3) 先進事例調査研修 3回(主として東海地域)19 時間

## 7 受講料 8万円

ただし、下記に掲げる者は、それぞれ各項目に定める額とします。

- A) 豊橋市又は田原市在住・在勤者・・・3万円
- B) 先端農業・バイオリサーチセンター実施の社会人向け人材育成事業の協賛企業(\*1)からの推薦者・・・3万円
- C) 農林水産業従事者及びJA又は農業経営を行う法人に所属する者、新たに農業経営を始めようとする者(\*2)・・・5万円

(\*1) 協賛企業等は以下のとおりです。(敬称略・順不同)

- ・イノチオホールディングス(株)
- ・(株)サイエンス・クリエイト
- ・(株)サーラコーポレーション
- ・(株)大仙
- ・トヨタネ(株)
- ・豊橋信用金庫
- ・本多電子(株)

(\*2) 認定新規就農者として自治体から認定を受けている者、農家等で新規就農のための研修を受けている者等

## 8 応募書類

応募書類は、本事業URLから取得し、豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター内6次産業化推進人材育成担当者宛に提出してください。

- (1) 様式1「志願書」
  - (2) 様式2「履歴書」
  - (3) 様式3「志望動機」【1,000字程度】
  - (4) 様式4「小論文」【1,000字程度】
  - (5) 大項目 7 受講料のただし書きに該当する場合は、それを明らかにできる書面
    - A) 運転免許証など住所が確認できる身分証の写し(豊橋・田原在住者)や健康保険証・社員証など在職を確認できるもの(豊橋・田原在勤者)の写し
    - B) 協賛企業の推薦状(別紙様式参照)
    - C) 農地台帳・組合員証・健康保険証・社員証などの写し、研修先の推薦状など
- ※提出された応募書類は返却しません。
- ※(5)の書面を提出いただけない場合、受講料は8万円となります。

9 出願期間:2019年6月14日(金)～8月2日(金)当日消印有効

10 選考方法:書類審査により選考を行い、場合により面接を行うことがあります。

※選考結果は、合否にかかわらず9月24日(火)までに書面でお知らせします。

### 11 応募書類の作成要領

応募書類は、志願書、履歴書、志望動機および小論文が必要です。以下の各項を参照の上作成してください。(いずれもワープロ作成可)

- (1) 志願書(様式1)
  - ・様式1に記載されている全ての欄に記入の上、氏名欄に捺印をしてください。
- (2) 履歴書(様式2)
  - ・写真欄には、上半身・無帽・正面向き・背景無地のもので志願前6か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm)を貼付してください。
- (3) 志望動機(様式3)
  - ・本プログラムを受講するにあたり、志願者本人の志望動機をA4判1枚(1,000字程度、文字サイズ12pt、明朝体)で作成してください。
- (4) 小論文(様式4)
  - ・『6次産業化及び食農産業に関する考え方』というテーマで小論文をA4判1枚(1,000字程度、文字サイズ12pt、明朝体)で作成してください。

## 1 2 応募書類の提出・問い合わせ先

応募書類は封筒に入れ、『東海地域の6次産業化推進人材育成受講希望』と朱書し、下記の提出先に簡易書留で郵送してください。

提出先・問い合わせ先 : 〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1  
国立大学法人豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター  
6次産業化推進人材育成担当者  
電話 : 0532(44)1016, E-mail : 6jisangyo@recab.tut.ac.jp

- 詳細はホームページ(<http://www.recab.tut.ac.jp/>)に記載しています。
- 応募書類の書式は、<http://www.recab.tut.ac.jp/contents/6sangyo/entry.html>よりダウンロードしてお使いください。

### ※個人情報の取扱いについて

志願時にお知らせいただいた氏名, 住所等の個人情報については、本事業の実施に関わる場合にのみ使用し、他には利用いたしません。